

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	塩屋北児童発達支援教室 バンビ			
○保護者評価実施期間	2024年 1月 20日		～	2025年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人 (兄弟児2名)	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携がとれている	日々の支援で気になることや、出来るようになったことがあればその都度職員間で共有し、「昨日こんなことがあったんです」とお休みだった職員への共有も意識的に行っている。	学習は発達段階に沿って個別で行っているため、担当職員一名では円滑に回らない。担当職員が主となり、全員でプログラムを決め、事前に内容や担当者の打ち合わせを行っている。
2	活動プログラムが固定化しないように、週交代でプログラム担当を回している。	その日のメンバーに合わせた支援内容を考え、発達段階に応じて個別にプログラムを変更するなど、子どもに沿った支援が行えている。	学習教材等の資料を作成し、定期的に新しい知識を職員間で共有していく。
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげることができている。	OTさんやSTさんなど外部から講師を呼び、気になる子を直接見ていただいたり、具体的な支援方法など意見をいただいている。事業所にはいない専門職の方からの意見を参考にし、日々の支援に活かすことができている。	教えていただいたことを、あとから全員で振り返る時間を設け、共有したのち、日々の支援内容に反映させていく。新しく入った職員にもわかりやすいよう、教材研究の資料ファイル等を作成。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会、集団でのペアレントトレーニング研修を開催実施できていない。	当事業所に通われていることをオープンにしていない児童もおられることで行っていない。保護者のご要望があれば検討したいと考えていたが、こちらから保護者の方へ「あれば参加したいか」といった意見を聞いていなかったため、一度アンケートをとってみたい。	今回の保護者アンケートを踏まえて、「保護者会や研修会があれば参加したいかどうか」について、アンケートを実施し、希望者の有無により今後の方針を決定したい。
2	非常災害時の訓練について周知ができていない。	年に3回、避難訓練を実施しているが、利用予定表に記載せずに行っていたため、周知が不十分だった。	今後は、利用予定表に「今月〇〇訓練を実施いたします」と記載する。また災害用リュックや、緊急時用携帯についても案内を配布する。
3	子どもや家族からの申し入れについての体制の整備や対応について「いいえ」と回答されたご家庭が1件あり、改善が必要。	意見箱を玄関に設置しているが、直接事業所に送迎される方以外は入れにくい。契約書には苦情や相談事があるときの連絡方法が記載されているが、ご存じない方も多い。	意見や苦情がある時の連絡手段や、無記名での連絡方法(無記名でFAXなど)について、お手紙を配布し、周知を徹底する。